

2023.6.23.

沖縄の「慰霊の日」を 忘れない

78回目の沖縄「慰霊の日」

6月23日は沖縄の「慰霊の日」。沖縄戦犠牲者の霊を慰め世界の恒久平和を願う日です。

沖縄戦は太平洋戦争末期である1945年に、日本軍と沖縄諸島に上陸したアメリカ軍を主体とする連合軍との間で行われた戦いで、連合軍と日本軍を合わせて20万人余りの犠牲者が出ました。そのうち一般人の犠牲者は推計で計10万人、沖縄県民の4人に1人が命を落とした壮絶な戦いでした。



【平和の礎】

国籍や軍人、民間人を問わず、沖縄戦における全20万人余りの氏名が刻まれています。

この礎が位置する「平和の広場」では、6月23日に「平和の火」が灯されます。

なぜ6月23日は慰霊の日？

「慰霊の日」は、連合軍と日本軍との間で起こった組織的な戦闘が終わった日とされています。1945年の6月23日に、沖縄現地に配備された日本軍の牛島満司令官と長勇参謀長が自決し、組織的な戦闘が終結したことから、この日が「慰霊の日」に定められました。

※諸説あり

参考：内閣府ホームページを基に作成

<https://www8.cao.go.jp/okinawa/okinawasen/gaiyou/gaiyou.html>

全国各地から沖縄に想いを馳せよう

毎年6月23日には「沖縄全戦没者追悼式」が行われます。沖縄戦で亡くなられた方々のご冥福と世界の恒久平和を祈願し、ぜひ正午の時報とともに黙とうを捧げましょう。式典の様子はTVやラジオで配信されます

離れた場所からでも、それぞれの場所で平和の祈りを届けませんか？

今日という日に、沖縄について「知り」、平和について「考えて」みてください。